

君に贈る物語

先輩から後輩へ、 本のレコメンデーション!!

先輩が後輩に読ませたい1冊を選び、
それぞれ感想を寄せてもらいました。

後輩：宮本 紗季のレビュー

「指示通りの修正をしていたつもりでも、実際はできていなかった…」仕事の中で、そんな経験を何度もしてきました。その理由がなぜなのか、この本を読んで少し理解できた気がします。この本は毎日新聞校閲センターで勤める方が校閲に関するコラムを執筆し、それをまとめたものです。正直、私はこれまで「校正」と「校閲」の違いもはっきり分かっておらず、どちらも「間違い探し」のような作業だと思っていました。しかし、読み進めていくうちに、そんな単純なものではないと気づきました。

第3章「コンビニに立ち止まれ」では、「コンビニエンスストア」と打てばすべてカタカナになる。だが略称の“コンビニ”とした場合、学習能力によっては“コンビニ”と出る」と綴られています。流し読みをしていたら、何が間違っているのかきつと気づけなかったと思います。カタカナの「ニ」と漢数字の「二」。この違いに気づけるようになるには、経験だけでなく、文章を客観的に見るが必要だと感じました。

コラムを通して学んだのは、「完璧だと思わず、出来上がったデータを一度疑ってみる」姿勢です。自分でミスを見つけられれば、同じ間違いは減り、成長にもつながるはず。そして何より、ミスに自分で気づけたという達成感こそが、仕事の質を引き上げる鍵になると感じました。

先輩：高山 竜代のレビュー

まず、「校閲至極」というタイトルに心が惹かれました。毎日赤ペン片手に校正をしている私にとって、`校正。という言葉は当然気になるものです。`至極。って？ ニュアンスは分かるけど…改めて辞書を引いてみると「至極とは、極限・極致に達していること。この上ないこと」とあります。校正がこの上ない？ どういうこと？ というわけで、とにかく気になるので読んでみました。

本書は9つに分けられた章のなかに、それぞれ7～10の節があり、その小見出しが上手く読者を誘導し、早く内容を知りたい!と思わせているように感じました。例えば、「サワラは白身？ 魚と校閲の筋肉」「高校野球の記事、三つの『アウト』」「思い込みで『津田沼市』」など、興味をそそる見出しが並びます。そして読み進めると、あえて間違いを紛れ込ませた「罣」が仕掛けられているのです。「吹奏学部」は「吹奏楽部」、「般若心経」は「般若心経」が正しいですね。ときどき気づかずに読んでしまっていて、「えーっ！ ホントだ…ガーン…」と仕事柄ちょっと落ち込むこともありましたが、それ以上に学ぶことが多く、今後の仕事に役立てようと思いました。

校正・校閲に携わる方はもちろん、そうでない方も楽しめる一冊です。読後は、言葉に対してのこだわりが生まれるかもしれません。

今回の書籍

『校閲至極』
著者：毎日新聞校閲センター
出版：毎日新聞出版
価格：¥1,760 (税込)

プリブレスグループ
宮本 紗季

プリブレスグループ シニアマネージャー
高山 竜代

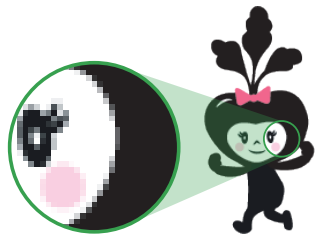


ぶちデザイン講座 for ノン・デザイナーさん

Lesson#24 ラスター？ベクター？画像の種類って何が違うの？

チラシやWeb画像を作るとき、「JPEG」「PNG」「SVG」など、いろいろなファイル形式を目にしますよね。でも、どれを使えばいいのかわかったことはありませんか？
実は、画像には大きく分けて「ラスター画像」と「ベクター画像」の2種類があります。この違いを知っておくと、印刷やWebで「画質が悪い」「ロゴがぼやける」といったトラブルを防げます。

ラスター画像



ピクセル(点)の集まりで表現

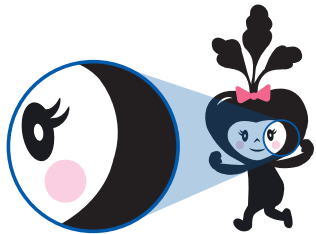
拡大するとぼやける

写真、複雑な色の表現

JPEG、PNG、GIF

印刷には高解像度が必要

ベクター画像



線や形を数式で表現

拡大・縮小してもきれい

ロゴ、イラスト、アイコン

SVG、AI、EPS

写真のような複雑な表現は苦手

ラスターは細かい色表現に強い、ベクターは拡大してもきれい。用途で選ぼう!



～編集後記～

▶2026年は2月にミラノ・コルティナ冬季オリンピック、3月にワールドベースボールクラシック、6月からはFIFAワールドカップというスポーツの祭典が目白押し。さらに、駒田印刷のお膝元、愛知県・名古屋市中では9月19日からアジア競技大会・パラ競技大会が開催されます。アスリートの活躍やアジア特有の競技に注目が集まる一方で、資材価格や人件費の高騰は開催に向けた大きな課題に。選手村の廃止や既存施設の有効利用、さらにデジタル・先端技術を応用した経費抑制も図られるとか。厳しい状況の中、知恵と工夫でいかに素晴らしい大会を実現できるか、こちらもひとつの見どころと言えるかもしれません。

▶本紙でも今回は中面でスマート家電やデジタルツールの話題を取り上げましたが、目覚ましいAIの進化は個人の生活だけでなく、複雑化・深刻化する社会課題の解決に活用され、私たちの仕事の効率化においても大きなヒントを与えてくれるはずです。2026年は、こうした進化とともに、みなさまの未来の働き方を探るきっかけとなる年でありますように。



VOL. 87 2026

駒田印刷株式会社

この情報紙は駒田印刷とお取引
頂いたお客様や、名刺交換をさせ
て頂いた方に、季刊で役立つ？ 楽
しい？ 情報をお届けしています。
どうぞ皆様でご回覧ください。
また、毎号同梱している人気の
オマケグッズも、ぜひデスク周り
やご家庭でお使いくださいネ!

Tel: (052) 331-8881 (代) Fax: (052) 332-3178 <https://www.kp-c.co.jp>

料金後納

ゆうメール



【愛知県日進市】愛知牧場

本格的な乗馬クラブもありますが、係員が手綱を引いてトラックを一周する「ひき馬体験」なら気軽に楽しめます。子どもが乗れるポニーはもちろん、引退した競走馬たちも活躍中。馬の背に揺られて見る景色は、いつもと違う視界が広がります。気分も爽快です。

【愛知県常滑市】

ふれあいウマーむTOKONAME

セントレア空港から車で15分ほどのふれあい牧場。ここにいるのは名馬の血を引く引退競走馬たち。「ひき馬体験」や「体験乗馬」に加え、「おやつ体験」「ブラッシング体験」など、手軽な料金で楽しめるメニューも用意されています。



馬にまつわる おすすめスポット!

今年の干支は「午(うま)」、ということで馬にちなんで各地のスポットをご紹介します。そのパワーにあやかり、元気に一年を駆け抜けましょう!



子どもも大人も楽しめる ミュージアム!

【東京都府中市】JRA競馬博物館

競馬や馬事文化、日本固有の馬である在来馬に関する各種展示・企画展など、さまざまな角度から馬のことが学べます。お気に入りの勝負服を選んでスクリーン上のレースに出走できる「なりきりジョッキー」、ゲートを開いてレースが始まる瞬間を体験できる「発馬機」、VRと乗馬マシンでレースが体感できる「ライド・オン・G」ホースなどのアトラクションも充実。また、東京競馬開催日の土日は、ミニチュアホースが競馬博物館正面で来館者をお出迎えします。



【京都市】藤森(ふじのもり)神社

平安京の午の方角の守護社で、駈馬神事が行われることなどから「勝運と馬の守護神」として知られています。競馬関係者やファン、午年生まれの人などの参拝も多く、騎手と競走馬が描かれた「勝馬祈願絵馬」、「うまいく御守」、小さくて可愛い馬の形のおみくじなど、どこも馬づくし。馬が描かれた飲み物の自動販売機は、コインを入れてボタンを押すと、なんと馬のいななきが流れます!

【東大阪市】石切劔箭神社

関西人には、できもの・はれものを治してくれる通称「石切りさん」でおなじみの神社。この神社の崇敬者だった馬主が競走馬に「イシギリツルギヤ号」と名付け、引退後、神馬として奉納。神事での役目を立派に果たした馬として銅像が建てられています。馬がおみくじを口にくわえた小さい置物の「馬みくじ」も大人気です。



SPECIAL★おまけ

今年の干支にちなんで、馬の絵柄のメモ帳!

記入しやすいライン入りの“くるみメモ帳”です。全4色(レッド・パープル・グリーン・ピンク)

どの色が
届くかは
お楽しみ!



コマダグループ

駒田印刷(株) / アドシンク(株) / (株)伊勢出版 (津市) / (株)エイコープリント (横浜市・大阪市)

通が教える、Wonderful World!

使ってる?

デジタル機器、スマートデバイスの世界

このコーナーでは、ある方面に詳しいコマダグループ各社のスタッフが登場。
今回は話題のアイテムの特徴や使用感をお伝えします。

ようこそ!
ツウの世界へ

暮らしが変わる、 スマートスピーカー&ハブミニ!



スマホが「何でもリモコン」に!

“Switch Botのハブミニ”はいろいろな家電リモコンをスマホに集約して操作できるスグレモノ。テレビは地味に助かっているし、外出先からエアコンをつけたり温湿度計と加湿器をリンクさせたりも可能です。(駒田印刷・金田文香)



スマート電球で照明を制御

スマホから操作できる上に、“Alexa”につなげば声で明るさや色合いが制御でき、SFチックで楽しいです。(駒田印刷・富田幸智)



使いだすと以前には戻れない!

“Amazon Echo”は目覚まし、タイマーも声で設定OK。いちいち手でセットしなくてもいいので本当に楽!(エイコープリント・田村耕)



第3世代のEcho Dot(エコードット)。こちらは少し前のモデルですが、依然として人気があります。



ワンダフルワールド

身近なデジタル機器といえば、 ワイヤレスイヤホン!



眠るときに使うならコレ!

形状が平べったくて枕に耳が当たっても痛くならない“おやすみイヤホン”はおすすめですよ。(駒田印刷・小倉百恵)



とにかく音楽に集中できる

“SONYのwf-1000xm5”は小型で軽量、ノイズキャンセリング機能が優れていて音質も良好。通勤が快適になります。(伊勢出版・野田英史)



ランニングにはこちらを!

“骨伝導イヤホン”は耳をふさがないので、周りの音も聞こえて安全です。(根間印刷・西村太佑)

健康管理にスマートウォッチ!



良い眠りのために活用!

睡眠時間や眠りの質を判断してくれる睡眠スコアを“Apple Watch”でチェックしてます。(伊勢出版・川口栄治)



運動のモチベーションUPに!

日々の歩数と消費カロリーがわかるので、身体を動そう!という気になります。(根間印刷・川上しずく)



耳の病気のリスクを軽減できる「オープンイヤー型イヤホン」は形状もイロイロです!

このほかにも「大人のやる気ペン」はやる気や成果がアプリで確認できて、勉強や作業がはかどります(駒田印刷・蟹江幸弘)」、「これから欲しいのは、鍵を出さずに家に出入りできる“スマートロック”(根間印刷・布村友絵)」、「“落とし物が探せるスマートタグ”が欲しいです(駒田印刷・椎名愛)」といった声も。アイテムも機能もどんどん進化するデジタルツール。これから使ってみたい人に今回のコメントが、商品選びのヒントになれば幸いです。

Good Company, Good Job!

きらりと光る 施設さん

このコーナーではコマダグループ各社とお付き合いのあるお客様ご紹介。今回は織田信長の父の居城があった末森城址に社殿を構え、名古屋では七五三や厄除け、さらに学業祈願、良縁祈願のスポットとしても名高い城山八幡宮さんについてお伝えします。



歴史的ロケーションにたたずむ開運の社

名古屋の地下鉄東山線「覚王山」駅と「本山」駅の間にある、緑に包まれた小高い丘。この地にはかつて織田信長の父・織田信秀の居城「末森城」がありました。城山八幡宮さんの創建については不詳とされていますが、500年以上前に現在の場所から少し北東に行ったところに鎮座したのち、1908(明治41)年にこの末森城址へ遷座、1956(昭和31)年に社名を「城山八幡宮」へ改称され現在に至ります。

初詣や合格祈願、夏の「茅の輪くぐり」、七五三、交通安全祈願など年間を通して多くの参拝客が訪れる城山八幡宮さん。本殿の裏手には「連理木」というご神木があり、分かれた幹がふたたび一つになって伸びていることから良縁、夫婦円満などを願う人も多く訪れます。また、社殿西側にある「桃取石」は、目を閉じたまま二つの石の間を歩いて一度でたどり着けたら願いが叶うとか。さらに、ローズフォーツが埋め込まれた水盤におみくじを浮かべると運勢が浮かび上がる「恋みくじ」も話題です。最近ブームとなっている御朱印は、縁結びにちなんだ「赤い糸の御朱印」、末森城の織田家ゆかりのもの、季節限定のものなど、ここならではのさまざまな御朱印をいただくことができます。

大通りから少し入り、木々に囲まれた石段を登っていくと、末森城址の空堀跡があり、高台からは街の眺望も楽しめる城山八幡宮さん。初詣がまだの方は、新しい一年の開運息災を願って参拝に出かけてみてはいかがでしょうか。



KOMADA INFORMATION

News 01 社員のつながりを支える新制度『共栄会チームアップ補助』誕生!



当社では、社員同士の交流を促進するための新しい取り組みを始めました。数年前より「部署単位で親睦を深める場を設けたい」という声があり、昨年は会社負担による部署別忘年会を実施。今年は、従来の社内イベントに代わり、部署ごとに懇親会を企画できる制度を整えました。これは、社員が仕事以外でも気軽に交流できる環境をつくり、チームワークを高めることを目的としています。すでに複数の部署で開催され、参加者は20名を超えました。こうした取り組みを通じて、社員一人ひとりのつながりを大切に、働きやすい職場づくりを進める当社の姿勢を、今後もさまざまな形で実現してまいります。

News 02 プライバシーマーク更新に向け内部監査を今年も実施しました



お客様の大切な情報を守るため、厳格な管理体制を整えています。その成果としてプライバシーマークを取得、2年毎の更新に向けて毎年、社内委員会による内部監査を実施しています。先日の監査でも、各部門の担当者が自部署以外を監査し合い、社内を巡回後、問題点や改善点を共有する「見直し会議」を開催しました。こうした取り組みを通じて、情報管理の精度を高めています。さらに今年度からは、情報漏洩防止の意識向上を目的に、毎月最初の営業日を「情報漏洩事故ゼロの日」と定め、委員会によるチェックを強化しました。お客様の信頼に応えるため、当社は今後も安全で安心な情報管理を徹底し、より高いレベルのセキュリティを維持してまいります。